



証券コード:7774

第11期(平成21年3月期)

第3四半期 決算説明資料

平成21年2月13日



株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

<http://www.jppte.co.jp>

目次

❖ 事業概要	---	2
❖ 第11期 第3四半期累計期間の業績	---	8

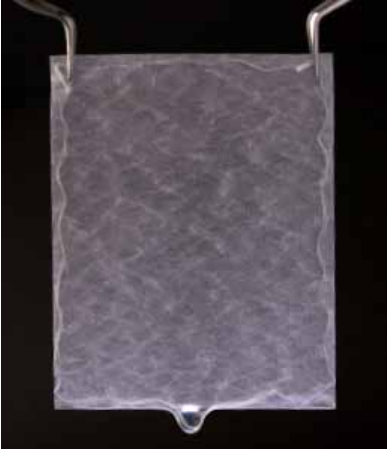

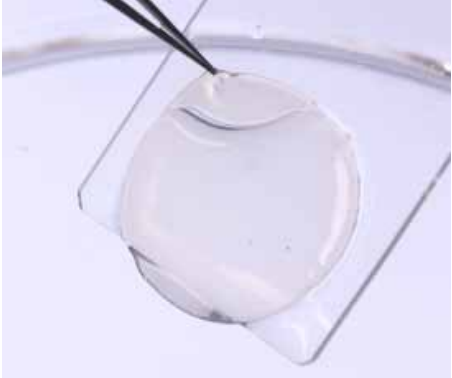
事業概要

再生医療製品事業

自家培養表皮

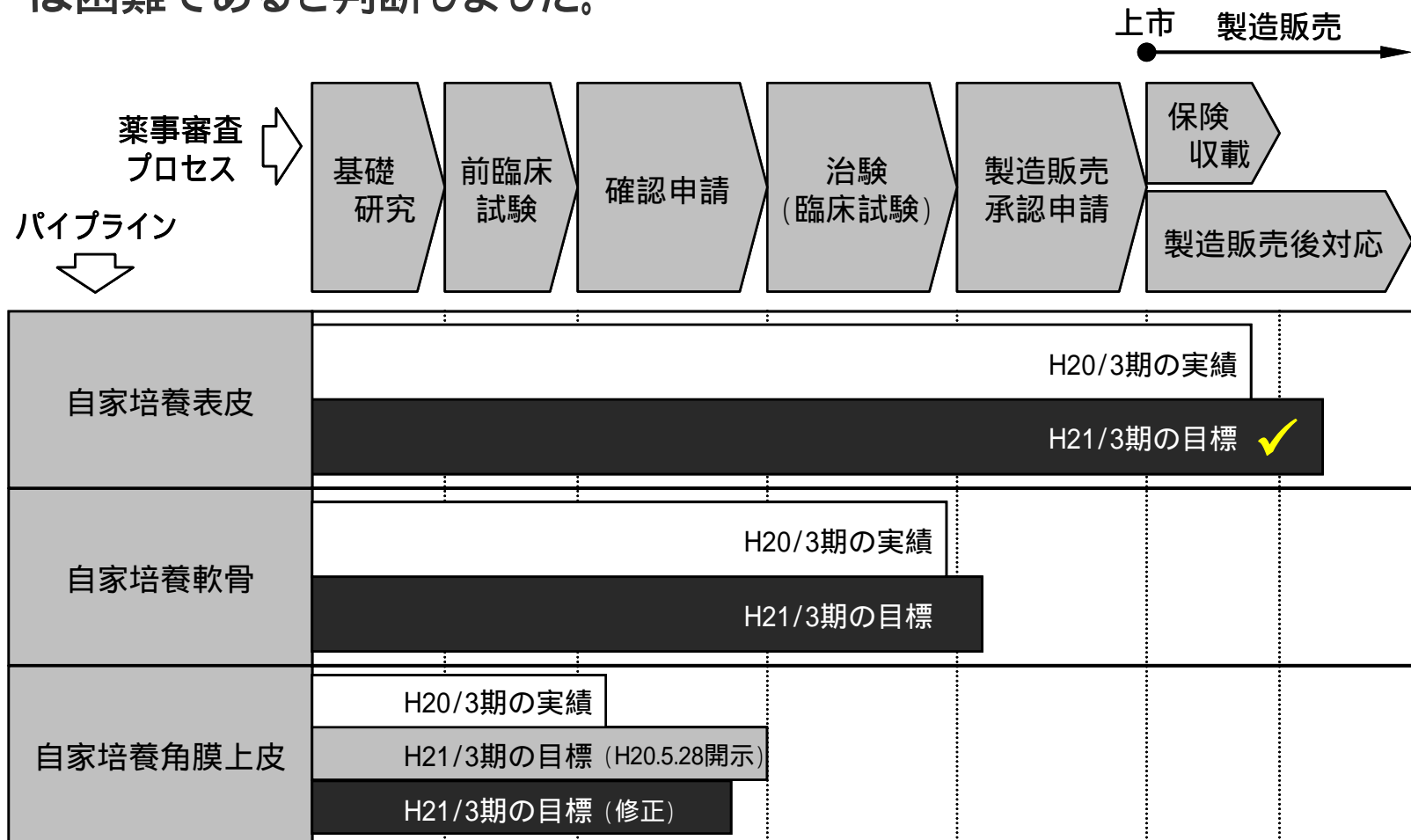
自家培養軟骨

自家培養角膜上皮

<p>開発製品の 外観</p>			
<p>基礎研究 を主導した 協働者</p>	<p>名古屋大学 上田 実 教授、 米ハーバード大学 Howard Green 教授</p>	<p>広島大学 越智 光夫 教授</p>	<p>伊ベネトアイバンク、 伊モデナ大学 Michele De Luca 博士 Graziella Pellegrini 博士</p>
<p>適応疾患 (軟骨と角膜 上皮は想定)</p>	<p>重症熱傷 〔 深達性 度熱傷創及び 度熱傷創の合計面積が 体表面積の30%以上 〕</p>	<p>外傷性軟骨欠損症、 離断性骨軟骨炎、 変形性関節症</p>	<p>化学傷、熱傷、スティーブ ンス・ジョンソン症候群、眼 類天疱瘡、角膜感染症、 再発翼状片</p>
<p>進捗状況</p>	<p>製造承認を取得(H19.10)、 保険収載(H21.01)</p>	<p>製造販売承認申請の準備中</p>	<p>確認申請の審査中</p>

平成21年3月期の開発計画

- ❖ 自家培養角膜上皮は確認申請の審査中ですが、今期中の確認申請適合は困難であると判断しました。



出所) マイルストーン開示に係る事業計画の修正について(平成21年3月期～平成23年3月期)(平成21年2月13日開示)

開発計画に係る主要な成果

❖ 3つのパイプラインの進捗状況は、以下のとおりです。

<p>自家培養表皮</p>	<p>平成20年12月17日に開催された中央社会保険医療協議会において、自家培養表皮ジェイスが平成21年1月1日付で保険適用となることが承認されました。保険償還価格は、1枚306,000円(消費税込み)です。</p> <p>製造販売後臨床試験ならびに使用成績調査の準備を進めました。並行して、会社休日におけるジェイス受注、受け入れ体制を整備しました。</p>
<p>自家培養軟骨</p>	<p>製造販売承認申請に先立って平成20年9月に受けた申請前相談(医薬品医療機器総合機構が提供)での指摘事項への対応を進めました。</p> <p>上述の指摘事項への対応結果をまとめ、第4四半期に事前相談のフォローアップを受けます。</p>
<p>自家培養角膜上皮</p>	<p>確認申請に対する照会事項の中に、動物を使用した追加データによる検証が必要なものがあり、実験を進めました。</p> <p>当該実験は複数のプロトコールで実施する必要があり、その内のいくつかは前例のないもので想定以上に時間を要しました。現在実施しているデータ解析の進捗を考慮すると、今期の確認申請適合は困難と判断しました。</p>

研究開発支援事業

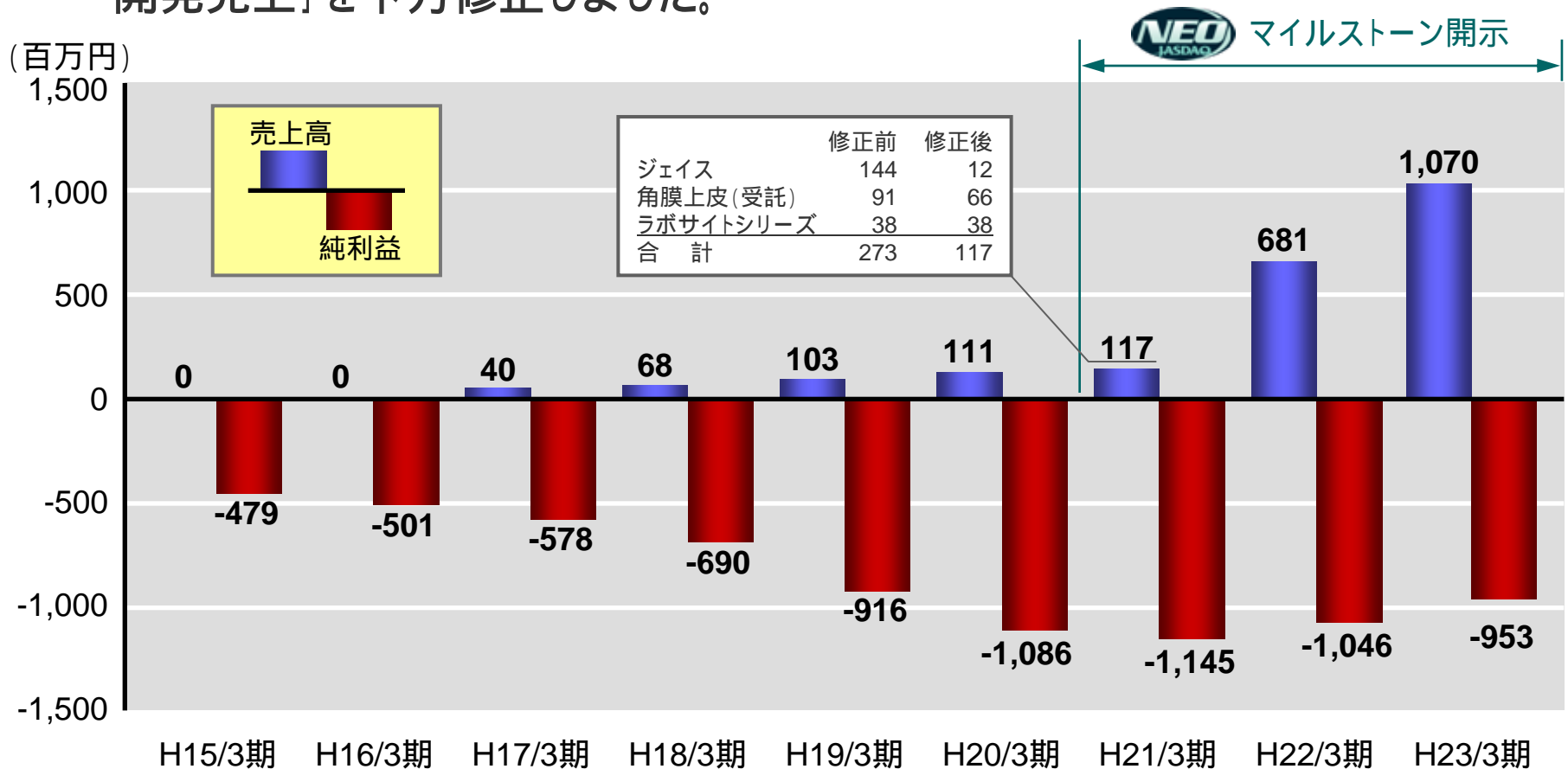
ラボサイトシリーズ



- ❖ 研究用ヒト培養組織ラボサイトシリーズは、外用医薬品や化粧品の開発時に実施する動物実験を代替します。
- ❖ 売上実績(4～12月):26百万円
 - 予算比: 99.0%
 - 前年同期比: 114.8%
- ❖ JaCVAM(日本代替法評価センター)が推進する皮膚刺激性試験の標準化作業(ガイドラインの設定等)が遅れています。

中期売上・利益計画

❖ 平成21年3月期は、「ジェイスの製品売上」と「自家培養角膜上皮の受託開発売上」を下方修正しました。



注) マイルストーン開示には、自家培養軟骨による売上が含まれていません。
 出所) マイルストーン開示に係る事業計画の修正について(平成21年3月期～平成23年3月期)(平成21年2月13日開示)

第11期 第3四半期 業績の概況

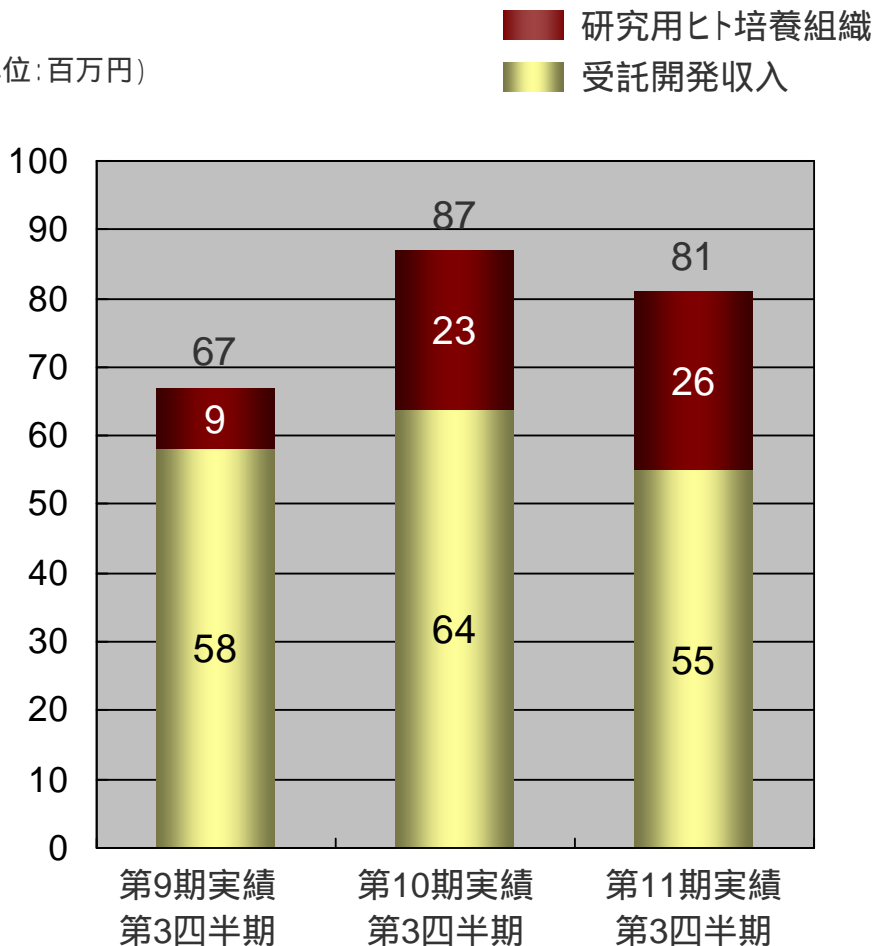
- ❖ 売上高は第10期第3四半期実績より6百万円減少(6%)し、81百万円となりました。当期純損失は販管費が増加し、870百万円となりました。
- ❖ 販管費の増加(59百万円)の主な要因は、人員増加に伴う研究開発費の増加分(98百万円)と支払手数料・消耗品費の減少分(45百万円)との差分です。

(単位:百万円)

	第10期 第3四半期 実績	第11期 第3四半期 実績	増減
売上高	87	81	6
売上総利益	6	5	1
販売費及び一般管理費	789	848	59
営業利益	783	842	59
経常利益	757	851	94
当期純利益	758	870	112

売上推移

(単位:百万円)



【受託開発収入】

- ❖ 受託開発収入は、自家培養角膜上皮の開発受託元である(株)ニデックからのものです。
- ❖ ベネトアイバンク(イタリア)との技術移転契約が、15万ユーロ減額され、主にこれに相当する金額が(株)ニデックからの受託開発収入の減少となりました。(平成20年8月22日開示)

【研究用ヒト培養組織】

- ❖ 景気悪化の状況下、積極的な販促活動の結果、第10期第3四半期実績に対して14%増加しました。(第10期:23百万円 第11期:26百万円)

財務概況(1)

【資産の部】

(単位:百万円)

	第10期 H20年3月末	第11期 H20年12月末	増減
流動資産	3,108	2,269	839
現金及び預金	3,036	2,191	845
その他	72	78	6
固定資産	1,194	1,124	70
有形固定資産	1,175	1,103	72
建物	802	755	47
その他	373	348	25
無形固定資産	8	10	2
投資その他の資産	10	10	0
繰延資産	23	16	7
資産合計	4,327	3,410	917

【流動資産】

❖ 営業活動による支出(787百万円)と借入金の返済(48百万円)等により、2,269百万円となりました。

【固定資産】

❖ 設備投資による増加分(8百万円)と減価償却費による減少分(76百万円)等により、1,124百万円となりました。

財務概況(2)

【負債の部】

- ❖ 借入金の返済(48百万円)等により、738百万円となりました。(借入金残高:483百万円)

【純資産の部】

- ❖ 当期純損失(870百万円)により、2,672百万円となりました。
- ❖ 資本金及び資本剰余金の増加分は、新株予約権行使によるものです。

【負債の部】

(単位:百万円)

	第10期 H20年3月末	第11期 H20年12月末	増減
流動負債	278	259	19
短期借入金	96	96	0
その他	182	163	19
固定負債	516	479	37
負債合計	794	738	56

【純資産の部】

(単位:百万円)

	第10期 H20年3月末	第11期 H20年12月末	増減
資本金	5,543	5,548	5
資本剰余金	3,373	3,378	5
利益剰余金	5,384	6,254	870
純資産合計	3,532	2,672	860
負債及び純資産合計	4,327	3,410	917

キャッシュ・フロー計算書概況

(単位:百万円)

	第10期 通期	第11期 第3四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	981	787
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,922	580
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,540	38
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(:減少額)	1,362	245
現金及び現金同等物の期首残高	2,039	676
現金及び現金同等物の期末残高	676	431

- ❖ 営業活動によるCF: 税引前四半期純損失867百万円等により、 787百万円となりました。
- ❖ 投資活動によるCF: 定期預金の払戻による収入(2,360百万円)及び預入による支出(1,760百万円)等により、 580百万円となりました。
- ❖ 財務活動によるCF: 長期借入金の返済(48百万円)及び株式発行による収入(10百万円)より、 38百万円となりました。
- ❖ 現金及び現金同等物の期末残高: 期末残高は431百万円となりました。なお、貸借対照表中の現金及び預金(2,191百万円)との差額は、預入期間が3ヶ月を超える定期預金(1,760百万円)が含まれていないためです。

第11期通期 業績予想

- ❖ 売上高は自家培養表皮ジェイスの販売開始により、117百万円となる予定です。当期純損失は同製品の費用(研究開発費、製造及び販売等)の増加が見込まれ、1,145百万円となる予定です。

(単位:百万円)

	第10期 通期 実績	第11期 通期 計画	増減
売上高	111	117	6
売上総利益	11	4	7
販売費及び一般管理費	1,083	1,118	35
営業利益	1,071	1,114	43
経常利益	1,049	1,125	76
当期純利益	1,086	1,145	59

PIR活動について

❖ 当社のIR活動方針は『PIR活動』の推進です。すなわち、当社の企業理念である「再生医療の産業化」の実現のため、株主及び投資家へのIR活動に加え、世論形成を目的としたPR活動も積極的に展開します。

❖ 11月には、日経BP社主催にて“再生医療「産業化」への鍵”をテーマに、セミナーを開催しました。また、12月には、株主通信を卓上カレンダー形式で作成するという新しい試みにも取り組みました(実用新案申請中)。



卓上カレンダー形式 株主通信

❖ 平成20年4月1日～平成20年12月31日の主な「PIR活動」は次のとおりです。

個人投資家向け会社説明会	12回開催
証券営業担当者向け会社説明会	2回開催
機関投資家等訪問	96件



本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容(事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。)は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

経営管理部

TEL. 0533-66-2020 FAX. 0533-66-2019

